

みなみまち協だより

第13号 平成30年11月15日

発行所：みなみまちづくり協議会
高山市岡本町1-18 南小学校内
Tel&Fax 34-0114

題字：内木 能里子(八軒町2)



南地区の風景

高山市立南小学校「乃木松」

通称「乃木松」が南小学校の校庭西側にあります。正式には「乃木大将の御手植えの松」といいます。

日露戦争が終わった翌年、明治39年6月26日に、当時の南小学校の前身、高山尋常高等小学校第三校（現在の高山郵便局のあたりにあった）で

乃木大将がお手植えになった。南小学校の新築移転や改築などに伴い何度もの移植を乗り越え、現在地に「三本松」と共に校庭の片隅のさわやかな空間を作ってくれています。

桜

南小学校の校庭に「乃木大将お手植えの松」がある。勝てるはずのない超大国ロシアに向かった日露戦争最大の激戦地は二〇三高地であった。攻める日本軍の指揮は乃木希典大将。飛騨からも多くの兵が出た。ロシア軍の上からの機関銃に対して、下からの日本軍の白兵戦で莫大な死傷者が出た。指揮は児玉源太郎に代わり、日本はギリギリのところまで勝った。

明治の先人達は、欧米の植民地になるのを防ぎ、列強に追い付き、追い越せで、日本を豊かで強い国にしようとした。しかし旧日本陸軍の基本戦術は白兵戦であった。戦力の不足を精神力の肉弾戦で突破して前に出るというもの。明治三十八年製の三八式歩兵銃を持ったまま、日本軍は昭和の第二次大戦で大敗北となる。

日露戦争の後に乃木大将は各地を回り、戦死者を悼み 高山でも松を植えられた。どんな気持で植えられたのだろう。乃木大将は明治が終わる時に自刃した。立ち続ける乃木松に吹く風は、乃木大将が「戦争はするな。二度と子供らを戦場に送るな」と言っているような気がする。

「平成」も終わる。

(中林利数)

平成30年度 みなみ地区敬老会



平成30年9月17日(月) 敬老の日
12時30分より高山グリーンホテル 天山の間
でみなみ地区敬老会が開催されました。みな
み地区の75歳以上の方は1,384名で当日の参
加者は316名でした。



90歳以上の参加者28名に花束
が贈呈されました。出席者の最
高齢者の福本ようさん(96歳)に
黒田会長から花束がわたされま
した。



國島高山市長もお祝いに駆けつけてくださいました。



田口眞一様の御発声でめでたが唱和され、続
いて浦谷栄三様より返し歌が披露されました。



岡本保育園児の遊戯、津軽三味線、舞踊
などの余興が披露されました。



最後は参加して下さった老若男女みんなで飛
騾やんさを踊って盛り上がりました。
ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



みなみまち協 行事・活動 アルバム



ほろよい日本酒講座



飛騨のごっつお

チーズやオイルサーディン

8月10日(土) (辻ヶ森公民館)
12名の参加がありました。飛騨のごっつおを肴に、10銘柄の日本酒を試飲しました。すっきりいい気分になりました。

社会教育部

乗鞍・親子日帰りバスハイク



8月11日(土) 山の日

54名の参加がありました。この夏の暑さの影響で、高山植物も早く咲き、ピークが過ぎていました。親子で楽しい一日を過ごしました。

青少年部



まち協連携観劇会

8月19日(日) (丹生川文化ホール)

市内7まち協が協力して観劇会を開催しました。劇団「うりんこ」が「名探偵!山田コタロウ」を上演しました。たくさんの方が参加しました。

ハーバリウム講座

9月7日(土)

12名の方が参加されました。ハーバリウムとは「植物標本」という意味で、ガラス瓶にプリザーブドフラワーなどを入れて専用のオイルで満たし長期間お花を楽しむ事ができます。

社会教育部



寄せ植え講座

10月5日(土)

11名が参加されました。文化祭への展示を念頭に少し見栄えする花を材料として準備されていました。

社会教育部



今年6月に開催された高山市の「少年の主張コンクール」に松倉中代表として参加されたお二人が披露してくれました。



少年の主張

第4回 みなみふれあい文化祭

平成30年10月14日(日)11時30分から、南小学校で第4回ふれあい文化祭が開催されました。天候にも恵まれ沢山ご来場いただきありがとうございました。



スポーツ交流会

ストラックアウト、グラウンドゴルフ、輪投げ、パン食い競争など



クッキー屋さん

楽しいお菓子作り教室の生徒さんが、前日にクッキーを焼いて、きちんと包装して販売していました。



ダイダイ染めワークショップ



駄菓子屋さん



高山チアダンススクール

SPARKS



あずき娘



マスクー輪車クラブ



南小学校4年生合唱



高山幼稚園(年長)



松倉中学校吹奏楽部



坪内流・津軽三味線



飲食バザー

新たにラーメン店やクレープ店も加わって、長蛇の列が出来ていました。



高山工業高校

工作教室は高校生のお兄さんの指導でLEDあんどんを作っていました。



飛騨高山高等学校・太鼓部



今やろう防災対策!

今防災について考えることは大変に重要なことだと思います。今年も日本各地で多くの災害が起きています。災害は他人事ではありません。明日は我が身、災害は必ずくると考えて行動することが大事なのです。

まだ災害が起きていない今だからこそ誰でも出来ることがあります。

それは

**想像すること
危機をイメージすること**

もし今

**高山に震度 7 の
巨大地震が起きたら?**

その時

家にいたら

真夜中だったら

ひとりでしたら

赤ちゃん、子供、病人、

家族など守るべき人としたら

どうする。

家具は倒れ、積んである物は崩れ、テレビや家電は飛び散り、天井の照明は砕け落ち、ガラスや食器棚の物は割れて散乱、しかも暗闇で足の踏み場もない状況。

多くの被災地の悲惨な映像を思い出し、想像する。

その瞬間

あなたは どうする?

家具等の転倒落下の防止

東京消防庁の調査によると地震で負傷した人のうち3~5割が家具の転倒落下が原因だったと報告しています。

そこですぐ出来る安全対策として

★寝室や子供、高齢者の部屋には、倒れそうな家具は置かない。

★高い場所に、ガラス製品などの危険物や重い物は置かない。

★ガラスが割れても破片が飛び散らないよう全てのガラス面に飛散防止フィルムを貼る。

★大型の家具や家電は転倒防止処置を施す。

★人の出入りが少ない部屋に家具をまとめる。

★寝室に家具を置く場合は、下敷きにならない配置にする。

★避難経路を確保するため、通路出入口には荷物を置かない。

火災に対する備え

地震で怖いのが火災です。そのひとつが「通電火災」です。

これは停電した電気が復旧する時に起こる火災です。倒れた電気器具に通電して周囲のものに着火したり、ガスが漏れていて発火したりします。通電火災を防止するため役立つ機器があります。



簡易式感震装置

★感震ブレーカー

地震による強い揺れに感应し自動的に電気を遮断する機器

★漏電遮断器

漏電を感知し、自動的に電気を遮断する装置

備蓄品の準備

大地震などが発生すると水や電気、ガスなどのライフライン(命綱)は停止し物流もストップします。

必要な物は、被災状況によりますが次のような備え方があります。

★常時携行品

外出先で被災した場合に、普段から最低限必要な防災グッズを持つ。

★非常時持出品

避難する時、緊急に持ち出す最低限の必需品。避難行動に支障ない必要最低限の物を、リュックなどにまとめておき、すぐ取り出せる場所に保管する。

★備蓄品

外部から支援が届くまで(最低一週間)の家族の人数分の食料、水、燃料、簡易トイレなど、運びやすい収納ケースに入れて保管する。保管場所は被災しても安全に取り出せる場所を考える。

備えなければ悔い残る

防災、減災に完璧はありません。

今のうちに

★正しい知識を得ましょう。

★準備や備蓄をしましょう。

★家族や、ご近所と話をしましょう。

一つひとつの小さな備えが、あなたを守り、家族を守り、ご近所を守る盾となるのです。

防災委員長 深尾 稔

(参考文献 「東京防災」東京都、「減災のポイント」)

Nたまの育成協力を要請されました

Nたま飛騨高山研修

平成30年9月22日(土)から9月24日(月)の3日間、南地区をフィールドに研修会が開催されました。

NGOに興味がある人、NGOに就職・転職を希望している人、NGOを設立したい人で、今回は20名の参加がありました。「認定NPO法人まちづくりスポット」が高山での受け入れ組織となっていて、そこからみなみまち協へ協力が要請されました。



高山研修での研修テーマは「住民参加の地域づくりを学ぶ」ということで、南地区を対象に様々な方々にインタビューしたり、懇談会で昔の事を聞き取ったりしました。



昔の事や地域の事を真剣に聞くNたまの方々

■9月22日(土)夕方

辻ヶ森公民館でまち協がお願した方や運営委員が参加し、いくつかのグループに分かれて質問に答える形で、昔の出来事や遊びなどのお話をしました。研修生には話を聞きだす能力の研修も兼ねていたようです。

その後、仕出し弁当と少しばかりのお酒で懇親会も開催されました。おかげは古くからの「飛騨のごっつお」でその説明から懇親会がはじまり、めでたの話がでたので、「めでた」が披露されました。

■9月23日(日)

研修生は南地区を自由に歩きながら、住民へのインタビューなど情報収集を行いました。

■9月24日(月)

南小学校多目的室でグループ毎に発表会に向けての準備をし、午後から発表会となりました。5グループの発表がありました。どのグループもまち協の認知度の低さを問題にし、様々な取り組みが提案されました。

●催し物の時にクイズ形式でまち協をアピールする。

●SNSを利用して情報の双方向発信をする。

●まち協のマスコットキャラクターを作成し、まち協を印象付ける。

●など、新たな提案として検討していく事になります。

Nたまの皆さん、ありがとうございました。

名古屋NGOセンター・Nたま <http://nangoc.org/ntama/> 名古屋 Nたま 検索

NPO法人まちづくりスポット <http://machispo.org/space/hidatakayama> まちスポ飛騨高山 検索

NGOとは、【非政府組織/Non-Governmental Organization】開発・貧困・人権・紛争など、国際的な課題(地球課題)に取り組む団体。

NPOとは、【特定非営利活動/Non Profit Organization】特定非営利活動促進法(NPO法)にもとづいて、法人格を取得した団体をNPO法人と言う。地域や子育て、いじめ、労働環境など、国内の課題に取り組む団体。

葉月会

外国人は手振り撓なく踊りけり
 安藤 桂
 歌そはだてて美術の秋を惜しみけり
 上田真穂子
 山の田の案山子に大き目玉かな
 栗田美由紀
 物忘れ用心しつ々茗荷摘む
 小林 高子
 鶏頭も直くなる松も日の光
 紺谷健次郎
 秋高し飛行機雲が天を分け
 下屋 孝雄
 空堀の関とぎの声立つ草紅葉
 瀬川 章子
 樹を曳るる秋日が風に香り居り
 玉田 信哉
 コスモスの気儘まよまに咲いてガレの色
 保木 信子
 秋うららガラス花瓶に透けにけり
 益田美貴子
 秋茜エミール・ガレの作と化す
 向井 公規
 秋深し閉じ込められしガレの蝶
 米澤 智子

陣屋句会

石庭に影落し鳥渡りゆく
 中家 富枝
 昏くれ早し二つ灯して一人の餉か
 小鳥 輝枝
 寒昂若き日の亡夫久々に
 森本 喜恵
 海見ゆる処で途切れ刈田道
 高木みつ江
 炉火燃えて祖母に威厳のありし頃
 中嶋 文子

文芸南俳句

みなみ



ふれあい文化祭の準備のようす

編集後記
 ふれあい文化祭で広報部は芸能祭の裏方を担当しました。音響や進行など慣れない仕事で大変だったのですが、無事終了しほっとしています。出演者の方や準備を手伝っていただいた方、参加してくださった方に感謝しております。ありがとうございました。

この夏は全国で自然災害が多く発生し、飛騨でも被害がありました。そんな事で、防災に関する記事を防災委員長に依頼しました。参考にさせていただけると幸いです。(神田)

みなみまち協 今後の行事予定

12月 15日
 親子はなもち作り
 (昨年のはなもち作り教室)



1月 25日
 冬のワイン講座



(昨年のワイン講座)

2月 1日 ミニまち協だより 3号発行
 24日 ファミリー・ボウリング大会

3月 5日 民生児童委員・町内会長と語る会
 15日 まち協だより 14号発行
 ◎子ども会リーダー研修会

◎は日時未定です。(10月30日現在)